

平成23年11月3日（木・祝）

## 科学の祭典「サイエンス屋台村」に出展

11月3日（木：文化の日）、釧路市こども遊学館を会場に、青少年のための科学の祭典釧路大会サイエンス屋台村（主催：NPO法人北海道科学活動ネットワーク）が開催されました。

この催しは、科学教育者などが実験を通じて児童・生徒に科学のおもしろさを知ってもらうことを目的に、毎年開催しているものです。北海道教育大学釧路校等の教育機関や釧路地方気象台等の行政機関16団体が29のブースを設け、科学実験や体験教室を行いました。



アクリル標本をじっくり選んでいます

当センターは、稚樹、葉、種子のアクリル標本を使い、デジタル顕微鏡で植物の細部を観察するという、数少ない生物分野の体験ブースとして出展しました。

参加した子ども達は、普段目にすることがあっても、じっくり見たことのない紅葉した葉やミズナラのドングリ、オニグルミの実等の色や形に大変興味を示し、自ら機械を操作して拡大倍率を上げると「すごい!」、「ごつごつしてる!」などの驚嘆の声をあげながら観察していました。



デジタル顕微鏡の使い方を指導している様子